

～中野区からのお知らせ～

★大和町地域防災まちづくり説明会を開催しました

大和町まちづくりの会の発足に先立ち、8月8日(木)、9日(金)、12日(月)に大和町地域にお住まいの方々を対象に、「大和町地域防災まちづくり説明会」を開催し、大和町の現状や課題、検討する主な内容・進め方、大和町まちづくりの会の立ち上げなどについて説明を行いました。



◆説明会の様子

この説明会で出された主な意見は次のとおりです。

【主な意見】

- ・地域全体の防災性の向上には、大和町中央通りだけでなく東西方向の道路も拡幅する必要がある。
- ・長期的なビジョンとともに短期的な対応策についても考える必要がある。
- ・改善された姿を早く住民にシンボリックに見せるような工夫も必要ではないか。
- ・何度かまちづくりの話はあったが、今回は最後までやり遂げて欲しい。

★不燃化特区の指定に向けた申請を行いました

大和町地域の災害に強いまちづくりを強力に推進していくため、東京都と区が連携して不燃化を推進するための支援策を展開できる「不燃化特区」に指定されるよう、東京都への申請を行いました。今後、東京都等との協議を重ね、平成26年3月には指定を受ける予定です。

今回申請した特区区域は右図のとおりですが、今後、まちづくりの検討を進める中で、地域全体への取組みについて一定の合意を得た上で、特区区域を大和町地域全体へ拡大したいと考えています。



○検討中の支援策（平成26年4月以降予定）

- ・老朽建築物を不燃化建替える際の設計費・除却費の一部助成
- ・老朽建築物の除却費助成
- ・老朽建築物の不燃化建替えを行った際の固定資産税・都市計画税の減免 など

※この支援策は、東京都が行う大和町中央通りの拡幅事業と並行して、拡幅後の沿道の不燃化促進を図るために実施するものです。

★ 大和町地区のまちづくりの情報は中野区ホームページでもご覧になれます。
 (中野区トップページの検索から「大和町まちづくり」で検索) ↓
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/502500/d016871.html>

平成25年11月 / 発行:大和町まちづくりの会

大和町まちづくり News 第1号

事務局:中野区都市基盤部地域まちづくり分野大和町まちづくり担当

大和町まちづくりの会が発足しました

～平成25年8月に災害に強いまちづくりを目的として活動をスタート～

大和町まちづくりの会は、防災性の向上が急がれる大和町地域について、中野区と協働して災害に強いまちづくりの実現を図ることを目的に、調査・検討を行っていきます。

第1回「大和町まちづくりの会」の様子

第1回(発会式)の開催概要は次のとおりです。

- 日時:平成25年8月22日(木)
午後7時～午後8時半
- 場所:大和区民活動センター洋室2・3号室
- 参加者数:会員23名・傍聴5名
- 議題:①会の立ち上げについて
②会の進め方について
③まちの現状と課題について



◆第1回の様子

今後の活動予定

～どなたでも傍聴することができます(まち歩きにも参加できます)～

第2回 大和町まちづくりの会

大和町まち歩き

11月19日(火)午後1時半より

普段生活している大和町を改めて見直し、まちづくりにおける課題を発見し、その課題を参加者で共有するために、まち歩きを行います。

午後1時半に大和区民活動センターへ集合してまち歩きを行い、課題マップづくりなどを行う予定です(午後4時半終了予定)。

第3回 大和町まちづくりの会

大和町まちづくり方針素案の検討

12月4日(水)午後7時より

第1回・第2回まちづくりの会で整理したまちの課題などを基に、大和町におけるまちづくりの方針素案の作成に向け、全体的な枠組みの案を事務局より提示し、意見交換を行う予定です(大和区民活動センターにて開催。午後8時半終了予定)。

★★★★★ 問い合わせ先 ★★★★★

中野区 都市基盤部 地域まちづくり分野 大和町まちづくり担当

電話:03-3228-8727(直通) / FAX:03-3228-8943

大和町まちづくりの会の紹介

◆大和町まちづくりの会の委員（順不同・敬称略）

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| 伊藤 栄資 会長 | 松田 欣子 | 南 孝和 |
| 木村 勝昭 副会長 | 吉池 登志子 | 佐々木 勝男 |
| 石川 晏充 副会長 | 花崎 孝 | 横山 順行 |
| 押田 義一 | ヴエズ いつみ | 早川 弘夫 |
| 仁尾 昭一 | 柴田 美穂 | 田代 誠 |
| 伊藤 英男 | 近藤 敏明 | 佐藤 真木 |
| 八束 由紀子 | 松本 和久 | 須藤 泰男 |
| 山岸 松司 | 吉田 國臣 | |



◆委員のみなさん

Q&A 大和町まちづくりの会について

Q. まちづくりの会の委員はどのような方で構成されているのですか？

A. 大和町地域の町会・自治会、防災会、商店会から推薦された方や公募による方、2、3名で構成されています。

Q. まちづくりの会でどのようなことを行うのですか？

A. 次のようなことについて検討していきます。
 ①災害に強い、安全・安心のまちづくり ②住環境や地域の魅力の向上
 ③大和町中央通り沿道など、地区ごとの特性に応じたまちづくり など

Q. まちづくりの会は傍聴できるのですか？

A. 傍聴することができます。開催日時や内容は、大和町まちづくりニュースや中野区のホームページでお知らせしていきます。

会の活動予定

平成25年度・中野区と協働で！ まちづくり方針素案の作成

現状と課題

何が問題かを把握する

整備の方向性

課題解決のために何をすべきかを検討する

整備目標

どのようなまちを目指すかを検討する



平成26年度・中野区と協働で！ まちづくり方針の検討とりまとめ

整備の内容

具体的にどのような整備を行うか検討する

まちづくり手法

どのような手法で進めるのかを検討する

整備スケジュール

いつまでに何を整備するかを検討する

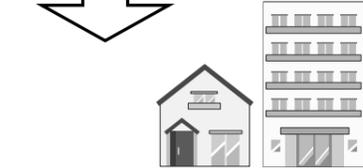
平成27年度以降 中野区が取り組む まちづくり方針に基づく防災まちづくりの推進

①建物の不燃化の促進

②主要生活道路の計画・整備

③大和町中央通りの整備に合わせた沿道の街並みの形成

④まちづくりの推進のためのルールづくり



数字でみる大和町

大和町の現状と課題

※構造別建物の図表は、土地利用現況調査（平成23年現在）に基づき作成

①木造住宅が密集しており、震災時における建物の延焼などの危険性が高い

②狭い道路が多く消防車の円滑な進入や安全な避難が困難な場所が多い



③大和町中央通り拡幅後の沿道の不燃化を促進し適切な土地利用や街並みを形成する必要がある

大和町のまちづくりにおける主な現状と課題は、上記の3点となります。

また、市街地の燃えにくさを表す指標として「不燃領域率」がありますが、大和町地域はこの値が約40%で、燃え広がらない安全な市街地とされる70%を大きく下回っています。

さらに、「地震に関する地域危険度調査（第7回）」では、下表のとおり火災危険度が都内でも相対的に高いランク4または5と評価されています。

■大和町における構造別の建物棟数

区分	棟数	割合
耐火造	553 棟	14.7%
準耐火造	529 棟	14.1%
防火造	2,328 棟	62.0%
木造	347 棟	9.2%
合計	3,757 棟	100.0%

■大和町における不燃領域率

不燃領域率 40.7%

※不燃領域率は、面積が100㎡以上の空地（公園、学校など）や6m以上の道路の面積及び耐火建築物の建築面積などにより算出しています。空地や不燃化建物などが増えると向上します。

■大和町の災害時活動困難度を考慮した地域危険度

区分	建物倒壊危険度		火災危険度		総合危険度	
	ランク	順位	ランク	順位	ランク	順位
大和一丁目	4	365	4	116	4	214
大和二丁目	3	560	4	156	4	312
大和三丁目	3	376	4	85	4	200
大和四丁目	3	374	5	80	4	193

※地域危険度：東京都は都内5,133町丁目の地震に対する危険度について、概ね5年ごとに調査し、5段階にランク分けして公表しています。

平成25年公表の第7回より、災害時の避難や消火・救助活動のしやすさを加味した危険度についても評価しており、ランクが高いほど危険度が高いことを示しています。